

令和5年度 全国学力・学習状況調査 指導方法等の改善計画

呉市立仁方中学校
(仁方中学校区)

全国平均値との差（英語については、「話すこと」調査を除く）

	国語	数学	英語
呉市教育振興基本計画〈指標〉	+5.0	+5.0	
令和8年度	—	—	—
令和7年度	—	—	—
令和6年度	—	—	—
令和5年度	-7.8	-9.0	-3.6
令和4年度	-1.0	-10.4	—

全国学力・学習状況調査の結果分析と今後の取組

◎…各学校 ◇…中学校区

<p>国語</p> <p>本校 <u>62%</u> 全国 <u>69.8%</u> 県 <u>70%</u></p> <p>話すこと・聞くこと 書くこと 読むこと 言葉の特徴や使い方 情報の扱い方 我が国の言語文化</p>	<p>重点課題</p> <p>◎[4]ーの歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読むことができるかという設問が51.0%と低い。(全国82.5%、県81.1%) また、[3]ーの読み手の立場に立って4、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えることができるかという設問が32.7%で低い。(全国54.3%、52.4%)</p> <p>◇図表、グラフ、絵から読み取ったことを相手に分かりやすく伝えることに課題がある。</p> <p>改善の方策</p> <p>◎基本的知識の部分を反復学習することで確実に習得させる。 言語の意味を理解させ、選択肢の語彙の意味の違いに気づかせる。</p> <p>◇図表、グラフ、絵から読み取ったことをはっきりさせ、自分の考えが正しく伝わる文章を書く学習活動を設定する。</p> <p>検証</p> <p>◎仮名遣い・叙述の仕方を確認して文章を整える問題を定期試験で出題する。 (いずれも通過率目標70%→)</p> <p>◇3学年のグラフ・図表・絵から読み取る設問を出題する。(通過率70%→)</p>
<p>数学</p> <p>本校 <u>42%</u> 全国 <u>51.0%</u> 県 <u>49%</u></p> <p>数と式 図形 関数 データの活用</p>	<p>重点課題</p> <p>◎問題2は全国平均よりも25.4%低い。分数や小数などの計算の力が乏しい。また、説明の問題では、無回答率が高く、記述している生徒も説明不足である。</p> <p>◇日常生活の問題、文章や図形の問題を正しく読み取り、正確で、効率よく答えを導き出す方法を考え出すことが苦手である。また、その解法を記述したり、説明したり、表現することに課題がある。</p> <p>改善の方策</p> <p>◎基礎学力の定着のため、整数の問題を中心に、取り組んできたが、分数や小数の問題にもふれる機会を増やす。説明の問題では、説明に必要なポイントを簡潔に伝える練習を取り入れる。ペアで説明して、説明した言葉を考察する場を設定する。</p> <p>◇解きはじめに、どのような判断理由、方針で解いたかを、数学的用語を用いて記述させたり、説明させたり、表現活動を通して、解法を考察させる。また、授業内で「思考を促す発問」を取り入れ、問題に対する見方の幅を広げていき、多角的な視点で問題を見ることできっかけを作る。</p> <p>検証</p> <p>◎◇3学年の定期試験で、分数の問題や説明問題を出題する。 (分数の問題 通過率70%、説明の問題通過率50%)</p>
<p>英語</p> <p>本校 <u>42%</u> 全国 <u>45.6%</u> 県 <u>43%</u></p> <p>聞くこと 読むこと 書くこと 話すこと</p> <p>※「話すこと」は、全国値のみ推定値</p>	<p>重点課題</p> <p>◎[3]のリスニング問題が全国との差が11%、次に差が大きかったのが[1](2)の不足している語を補って英文を作ったり(10.7%)、メールの英文を依頼する表現に書き換える問題(10.6%)であった。リスニングに関しては無回答率は0だったが、[2]の問題の無回答率は全国と比べて約4%高くなっている。また、英文を書く問題のみ無回答率が発生しているという偏りが特徴的である。</p> <p>◇「社会的な話題に対して自分の考えと理由を書く」ことに対する無回答率がほかの問題と比べて高い(36.7%)。いろいろな話題に関して関心を持ち、自分の考えをもつことが必要である。</p> <p>改善の方策</p> <p>◎英単語の知識・語彙力不足によるところが大きい。使用頻度の高い単語を覚える時間を設け、定期的に単語テストを行い、授業では覚えた単語をアウトプットする活動を取り入れる。また、英作に関しては自分の考えをより簡単な日本語に言い換える力がない。自分の考えを入れた文を作る活動を設定していく。</p> <p>◇「私は負けず嫌いだ。」を「私は負けることが好きではない。」とより簡単な日本語に言い換えるような学習活動を取り入れ、英作文の苦手意識を取り除いていく。</p> <p>検証</p> <p>◎◇3学年の定期試験で、社会的な話題に関して自分の意見を述べる英作問題を出題する。(通過率目標30%、英作の無回答率目標10%)</p>

【来年度に向けて】